

旧八町閉町式



北有馬町閉町式典が3月30日(木)、北有馬ビロティー文化センターで開催されました。北有馬町助役、町議会議長の式辞の後、北有馬中学校の生徒が町旗を降納し、北有馬町の歴史に幕が下りました。閉町式後には記念事業として住民代表や有馬小学校児童により、有馬川に稚鮎一万匹と幼鰻二百匹が放流されました。放流時には4センチ程の稚鮎でしたが、南島原市誕生後の6月末には15センチほどに成長した姿を見ることができま



3月11日(土)、ふるさと伝承館多目的ホールで深江町閉町式典が開かれました。本町町長の式辞、川田議会議長の挨拶、町功労者等の表彰があり、続いて上田大翔さん(深江小)、石橋基大さん(小林小)、田島沙弥さん(大野木場小)が深江町への思いを発表しました。その後、増田慎さん(深江中)と薄田佳那子さん(同)が町旗を降納、町長に手渡し、岸本助役の閉町宣言によって深江町の歴史に幕が下ろされました。



3月11日(土)、原城文化センターで南有馬町閉町式典が開催されました。松尾町長の式辞に続き、小中学生による閉町記念作文の朗読が行われ、それぞれが南有馬町に対する思いを発表しました。続いて町民憲章の朗読、合唱団による「ふるさと」の合唱があり、式典の最後に、馬場勇志さん(南有馬中学校)と小田美紗希さん(同)が町旗を降納し、松尾町長に手渡すと会場は大きな拍手で包まれ、式典は終了しました。



3月12日(日)、世紀の泉で布津町閉町式が行われました。隈部助役の開式のことばで式典が始まり、伊藤町長の式辞、隈部町議会議長の挨拶の後、町功労者への表彰が行われました。続いて、布津・飯野両小学校の児童と布津中学校の生徒による意見発表が行われ、アトラクションを経て、最後に布津中学校の生徒により降納された町旗が町長に手渡され、田浦副議長の発声による万歳三唱で式典の幕が閉じられました。



3月11日(土)、町民体育館で口之津町閉町式典が開催され、関係者約350人が参列、77年余に及んだ町の歩みを振り返り、発足する『南島原市』の発展を願いました。参加者全員が国歌斉唱により始まった式典では、三原町長の式辞の後、町功労者への表彰状と寄付をいただいた方への感謝状が贈られました。アトラクションを経て、式典の最後に町職員が町旗を降納し、町長に手渡し、口之津町の歴史を締めくくりました。



3月11日(土)、有家町民センターで有家町閉町式典が開催され、80年にわたる町の歩みを振り返りました。藤原町長の式辞に続いて、町の発展に功労された16人に表彰状が贈られました。その後、永田絢子さん(有家中学校)と鬼塚りかさん(同)が有家町への思いをそれぞれ発表し、アトラクションを経て、最後に町内各小学校の児童代表が町旗の降納を行い、藤原町長に手渡し、有家町の歴史に幕を閉じました。



3月12日(日)、加津佐町閉町式典が青年婦人会館で開催されました。式典では、長年にわたり教育文化や交通安全など、様々な分野で功績があった19人の方に表彰状が贈られました。また、加津佐町内の4小学校の児童4人が「明日へのメッセージ」として、それぞれ意見発表を行いました。式典の最後には、加津佐中学校の生徒2名が、町旗を降納し、元山町長に手渡し、加津佐町の78年の歴史に幕を下ろしました。



3月12日(日)、西有家総合学習センターで西有家町閉町式典が行われ、本村助役の開式の辞で開始されました。佐藤町長、本多議会議長の式辞、町功労者の表彰に続き、林田綾さん(西有家小)と本村優妃さん(西有家中)による意見発表等を経て、町旗が内田翔太郎さん(西有家中学校)相川知美さん(同)により降納され、町長に手渡されました。万歳三唱後、林田収入役の閉式の辞により西有家町の歴史に幕が下ろされました。



長い間ありがとうございました。

思い出はいつまでも...